令和5年 春の叙勲 業界関係4人栄誉に浴す

29日付で2023年春の叙勲受章者が発令された。本県関係の主な受章者では、県電設業協会会長の大堀康之氏が専門工事業振興功労で旭日双光章を、元県建設業協会常任理事の田口誠壽氏が建設業振興功労で旭日双光章を受章。元県土木部長の後藤和正氏は地方自治功労で瑞宝双光章を、㈱桜井塗装店代表取締役の櫻井毅氏は技能検定功労で瑞宝単光章を受章する。今回の県内受章者は旭日章13人、瑞宝章80人の計94人。旭日章は社会の様々な分野で顕著な功績を挙げた者に授与される勲章。瑞宝章は、国および地方公共団体の公務または公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者に授与される。伝達式は5月12日11時30分から国土交通省（東京都千代田区）で挙行される。

大堀 康之（おおほり やすゆき）氏

（一社）茨城県電設業協会会長
大堀メンテナンス株式会社代表取締役会長

旭日双光章

災害時支援協力など貢献

プロフィール

大堀氏は1945年2月3日生まれ。78才。つくば市在住。県立土浦第一高等学校卒業後、大堀電気工事店に勤務。1988年に大堀メンテナンス㈱代表取締役社長に就任すると、2007年に代表取締役会長に就任。

団体関係では、1992年に県電設業協会理事に就任し、2012年から副会長。15年には会長となり、現在に至る。会長として協会の事業の活性化や会員資質の向上に尽力するとともに、資格技術者の確保や若手技術者の育成、災害時支援協力の充実などに貢献している。

13年には県知事表彰、15年には県知事表彰および消防庁長官表彰を受賞した。

受章にあたり

大堀氏は「身に余る光栄と思いますと同時に、恐れ多いことと感じております。しかしこれは、私一人にではなく、協会の皆さまが長年積み上げてこられた実績に対して与えられたものであり、深く感謝しつつさらに努力をしてまいります」と受章の喜びを語っている。

田口 誠壽（たぐち せいじゅ）氏

元（一社）茨城県建設業協会常任理事
株式会社田口工務店代表取締役社長

旭日双光章

地域社会の発展に精進

プロフィール

田口氏は1949年1月10日生まれ。74才。大洗町在住。芝浦工業大学工学部土木工学科卒業後、株木建設㈱で勤務。1975年からは㈱田口工務店で勤務し、79年に専務取締役、82年に代表取締役社長に就任し、現在に至る。

県建設業協会では2000年から理事を務め、08年から18年まで常任理事を務める。同協会水戸支部では1994年に理事に就任し、2008年からは副支部長として活躍中。

工事施工の際には「工期の厳守、安全施工」「工事品質の確保」を掲げ、数多くの優良工事表彰を受賞。17年には国土交通省大臣表彰（海事関係功労）を受賞している。

受章にあたり

田口氏は「このたびの受章は身に余る光栄であり、永年にわたってご指導・ご鞭撻をいただいた諸先輩方や業界関係者の皆さま方に心より感謝申し上げます。これからも後進の指導育成に努め、建設業界と地域社会の発展に精進してまいります」とコメントを寄せた。

後藤 和正（ごとう かずまさ）氏

元茨城県土木部長

瑞宝双光章

震災復興に全力で取組む

プロフィール

後藤氏は1951年4月24日生まれ。72才。水戸市在住。北海道大学工学部土木工学科卒業後、74年に県庁へ入庁。初配属は土木部道路建設課橋梁係。港湾課長、水戸土木事務所長、都市局長などを経て、2011年4月に土木部長に就任。東日本大震災からの迅速な復旧・復興に全力で取り組んだ。

県退職後は、12年に㈱茨城ポートオーソリティ代表取締役副社長に就任すると、18年から代表取締役社長として茨城港の利用促進や良質な港湾サービスの提供に尽力。

港湾周辺の都市づくりにも積極的に参画し、地域全体の発展やにぎわいづくりに貢献した。

受章にあたり

後藤氏は受章にあたり、「この度の受章は、関係者の皆さまに支えていただいた賜物であり、県土木部の一員として受章したものと感謝しております。県土木部では皆で力を合わせ、様々な事業に携わることができたことを幸せに感じております」とコメントを寄せた。

櫻井 毅（さくらい たけし）氏

茨城県建築塗装技能士会副会長
有限会社桜井塗装店代表取締役

瑞宝単光章

塗装業発展へ一層精進

プロフィール

櫻井氏は1957年3月30日生まれ。66才。水戸市在住。県立水戸工業高等学校を卒業し、㈲桜井塗装店に勤務。99年、代表取締役となる。

2002年から20年まで県塗装工業組合の理事を、22年には監事を務めている。06年には日本塗装工業会茨城県支部の幹事、10年には監事となった。08年に県建築塗装技能士会の副会長となり、今に至る。

04年には県知事感謝状、11年には水戸市長表彰、14年には中央職業能力開発協会長表彰、20年には厚生労働大臣表彰を受賞している。

受章にあたり

櫻井氏は、受章にあたり「この度、令和5年度の春の叙勲に際しまして、栄誉に浴しましたところ誠にありがたく心よりお礼申し上げます。これもひとえに、塗装組合関係者さまの多大なるご支援ご鞭撻のおかげだと思っております。誠にありがとうございました。皆さまのお言葉をしっかりと噛み締め、今後もなお一層精進してまいりたいと思います」とコメントした。

鮮やかな光の演出彩る

袋田観瀑トンネル 三上とイガラシへ感謝状

大子町

大子町（高梨哲彦町長＝写真上）が整備を進めてきた袋田観瀑トンネルの照明改修工事が竣工を迎え、トンネル内が鮮やかな光の演出で彩られた。完成を祝う竣工式典が22日に挙行され、高梨町長をはじめとする町関係者や大井川和彦知事、梶山弘志衆議院議員など約100人が出席。式典では設計・監理を担当した㈱三上建築事務所と、施工したイガラシ綜業㈱に感謝状が贈られた。

高梨町長は「協力を賜った関係者の皆様に心から感謝を申し上げる。より一層観光地としての魅力度向上に努め、今後も観光誘客に取り組んでいく」と語った。続いて、大井川知事や梶山衆議院議員らが祝辞を述べた。式典後は点灯式および内覧会を実施した。

照明改修工事では、長さ276mの観瀑トンネル内の全ての照明がLEDに更新され、滝までの道のりを鮮やかな光の演出で彩る。加えてトンネル内に大型モニターを設置したことで、町の情報を動画で発信できるようになった。また「恋人の聖地」モニュメントの前に新たにペア用ブランコを設置。新たなフォトスポットとして整備を行った。

基幹産業の大きな役割担う

事業計画など全議案を承認へ

茨建協潮来支部／定時総会開く

県建設業協会潮来支部（松﨑里志支部長＝写真）は26日、定時総会を潮来支部会館で実施した。当日は委任状含め50社が出席。2023年度の事業計画や予算など、全ての事案が原案どおり承認された。

冒頭、松﨑支部長があいさつに立ち「ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー、資材の高騰、少子高齢化に伴う人手不足への対策、若手層の雇用促進に向けた働き方改革など、われわれが取り組まなければならない課題は多い。しかし、建設業は地域の減災・防災の担い手として、また地域経済を支える基幹産業として大きな役割を担う。特に近年は大規模な災害が頻発し、われわれへの期待は高まっていくと考えている。皆さまのご意見を聞きながらさまざまな問題に対処していきたい」と述べた。

その後は県建設業協会の石津健光会長のメッセージが読み上げられた。

議事に入り、事業計画や予算などを審議。全ての議案が承認された。

千代川中で空調設置

5～6月中に指名競争

下妻市

下妻市は、千代川中学校（鎌庭2777）の普通教室で、空調設備設置工事を行う。5、6月中にも指名競争入札を発注したい考え。工事期間は2カ月ほどを見込んでいる。

2教室を対象に工事を行う予定。特別支援教室として利用する教室が増えたことから、空調設備の設置が必要となった。室内機、室外機を設置し、教室の利用環境を整えていく。

千代川中学校校舎の建物規模は、RC造2階建て、延べ面積は4679㎡。建築年は1999年。

駐車装置取替を発注

一般競争で第3四半期

都市再生機構

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部（千葉地域）は、2023年度の工事発注見通しを公表した。本県関係では、「R05つくば・二の宮他1団地機械式駐車装置取替工事」を第3四半期に詳細条件審査型一般競争で発注する。金額規模は2億円以上3億5000万円未満。工期は約16カ月。種別は機械装置。

「R05つくば・松代三丁目屋根防水修繕工事」は第1四半期に詳細条件審査型一般競争で発注。金額規模は3000万円未満。工期は約3カ月。種別は防水。

「R05つくば・二の宮他4団地給水ポンプ等修繕工事」は第2四半期に指名競争で発注予定。金額規模は2000万円未満。工期は約7カ月。種別は管。

1億投じ長寿命化改修

9月議会メドに一般公告

茨城町／矢頭団地B棟

茨城町は本年度、町営住宅外壁等改修工事に1億524万8000円を見込み、矢頭団地B棟の外部改修を実施。発注方法は一般競争入札で、順調ならば9月議会で契約締結に係る承認を得たい考えだ。本年度はあわせてC棟の工事に向けた設計にも着手する。

町営矢頭団地はイオンタウン水戸南の東部に位置。A～C棟があり、1980～82年にかけて建設された。構造は中層耐火4階建て。戸数は72戸。

B棟の延べ床面積は1480・74㎡。工事では外壁塗装のほか、アルミサッシ交換、バルコニーの手摺り交換などを行い長寿命化を図る。実施設計は昨年度に㈲汎連合設計（水戸市）へ委託している。

なお、町営住宅整備事業費に1億1975万3000円を計上。外壁等改修工事費のほか、退去補修等工事には600万円、工事監理委託には210万1000円。

B棟と同程度の規模のC棟は、工事設計委託に339万900円を配分。

早ければ6月末発注

生涯学習センター 空調設備更新工事

常陸太田市

常陸太田市は、生涯学習センターの空調設備更新工事を計画している。発注は早ければ6月下旬に行う予定で、工事費として6479万円を計上した。

更新するのは、生涯学習センター内にあるふれあいホールの空調設備。設置後20年以上が経過しており、経年による劣化が見られる。また、空調設備の部品が製造終了により修理ができない状況のため、空調設備の更新工事を行う。ふれあいホールの面積は508・6㎡。

工事の発注は6月下旬～7月上旬を見込んでおり、早期の着工を目指すという。工期は約4カ月を見込んでいる。

生涯学習センターは1999年築のRC造平屋建て（一部2階）、延べ床面積2391・11㎡。

来月8日から追加受付

23・24年度入札参加

県と26市町村

県と県内26市町村は、2023・24年度建設工事および建設コンサルタント業務等委託業務の入札参加資格申請について、5月8日(月)～12日(金)まで追加受付を実施する。申請は電子申請とし、申請後、確認書類を書留郵便で郵送する（当日消印有効）。電子申請を利用できない事情がある場合は、申請書類および確認書類を書留郵便で郵送する（当日消印有効）。

今回、共同受付を実施する市町村は、水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、大子町、美浦村、五霞町。

5月追加受付の入札参加資格者名簿への登載期間は23年7月1日～25年3月31日。ただし、日立市は23年7月1日～25年5月31日、守谷市は23年7月1日～25年4月30日。入札参加資格申請の手引きなどは県HP（https://kennsetugyou-ibaraki.jp/）からダウンロードできる。

問い合わせは、県監理課建設業グループ（電話029-301-4334）。

巣立山公園の改修

設計業務5月25日開札

常総市／工事も年度内入札

常総市は、巣立山公園（内守谷町きぬの里2-15-1）の長寿命化改修工事に向け、設計業務の指名競争入札を行う。5月25日の開札を予定。年度内に策定、着工を目指す。工事の発注方式は指名競争入札、工期期間は120日間を想定している。

主な工事内容は、トイレ、パーゴラ、外灯、砂場などの改修を予定している。

トイレは、既存のものを撤去して新たなトイレを設置する。トイレは園内北部にある。パーゴラについても、既存のものを改修する予定。外灯はLED化を進めていく。

巣立山公園の敷地面積は約2ha。園内にある遊具は、老朽化に対応するため、昨年度に更新済み。

危険ブロック塀撤去

費用を助成、先着3件

大洗町

大洗町は、危険ブロック塀などの撤去に対し、費用の一部を助成する。申込期間は9月29日まで。募集件数は3件（先着順）。当初予算には補助金として50万円を計上している。

ブロック塀などの倒壊による事故を未然に防止し、通行者の安全を確保することが目的。

避難路などに面し、倒壊のおそれのあるブロック塀などを解体する費用の一部を補補助する。補助金額は、町が適当と認めた補助対象経費の3分の2（限度額10万円）。

申請書は町HPからダウンロードできる。

窓口は、都市建設課建築営繕係（029-267-5156）。